

“見える部分”も“見えない部分”も成長しています



最近親への反発や反抗が目立ってきました。親切心から声をかけても、「余計なこと言わないでよ」「放っておいてよ」といった調子です。どのように対応したらよいでしょう。



反発・反抗は「自我（自分自身に対する自覚）」の芽生えとも言われます。親へ反抗するという行為だけを切り取って叱ってしまうのではなく、反抗することで距離を測っているのとらえ、あたたかく見守りましょう。反発・反抗をするからといって親を嫌っているわけではありません。

うるさいな！
言われなくてもわかってるよ！

ちゃんと〇〇なさい！
こんなことをしていたらダメでしょ！

確かにあなたの言うとおりでね
お母さんはこう思うんだよ

自分のこと考えてくれてる
大人でもそう思うのか

今はこんな時期

- 「自分のことは自分で決める！」
(勝手に決めつけないでと感じている)
- 親より友達とのかかわりを大切にしたいがる
- 友達と同じ服装や言葉づかいをしたがる
- 自分なりの考えを持つようになり、親、教師、友達などの他者批判をすることが増えてくる

子どもの態度を変えようとするのではなく、親が変わるのが成長の近道かも

親として大切なこと

- 子どものことを“把握”するのは良いけれど、必要以上の干渉はひかえる **【見守る姿勢】**
- 会話を通じて友達関係を把握しておく **【影響の有無の確認】**
- 正面から言い争ったり、見放すような発言をしない **【大人対応】**
- 様々な不安を感じることもあるので、本人に自信をもたせる

体について悩んでいませんか？

子どもの中には体の発達について誰にも言えずに悩んでいる場合があります。一人一人成長には個人差があるので、心配はいらないことを教えてあげましょう。心と体はつながっています。どちらかが変化、成長するともう一方にも変化があらわれます。

がまんでこないときは…

反抗期だからとわかっていても、日々向き合っているとがまんでこなくなる時もあるでしょう。そんなときは「物理的に距離をとる」「第三者に相談する」のも大切です。

上手な ほめ方・叱り方 —愛をもって—

「叱る（しかる）」と「怒る」は似ているようで、異なります。

「叱る」… 相手の非を指摘、説明し、厳しく注意をする

「怒る」… 腹を立てて（感情にまかせて）相手に注意する

つまり「怒る」が自分の感情に基づくのに対し、「叱る」は相手のことを思って注意をするということです。

- 怒っているときは叱らない
- 叱るときは“短時間”で“そのことだけ”
- “どうしたらよかったのか”を具体的に伝える
- 叱ったときは、あとから他の場面で“目を見てほめる”

ちょっと待って！
行き過ぎたしつけは
“虐待”です！

しつけは子どもの成長に合わせて、生活習慣や社会のルール・マナーを身に付けさせることです。

ただし、親であっても、子どもの心身を傷つけ、健全な成長を損なう行為は“虐待”です。虐待かどうかを決めるのは親ではありません。